

# 広島県 支部

## 「大震災と広島」

広島県支部 支部長 白井 勝秀（昭和39年卒業）

今年に入り東北・北陸・山陰地方の豪雪、3月11日東日本大震災、地震・津波、又福島原発の放射性物質の拡散で陸海と怯えている状況です。広島も原爆と云う恐怖におのゝく時代がありました。我々の年代では被爆した家族、友人は沢山います。半世紀以上経過して今も原爆症に苦しんでいる人がおられます。

しかし現在は平和都市広島として、経

済産業共に発展し立派に復興しています。今回の大震災で被災された地区の皆様に心より御見舞い申し上げます。

広島には世界遺産宮島“厳島神社”、本年3月迄続いた朝のドラマ“てっぱん”の尾道、龍馬ゆかりの福山“鞆の浦”と名所旧跡があり、校友会の皆様是非足をお運び下さい。

2月の支部理事会において前支部長 吉

田 祥三氏が辞任され後任に指名されお引き受けした次第です。支部会員の協力をえて支部又本部大学の発展に微力ながら尽くしたいと思います。

広島支部発足2年目、5月に第2回総会を学園都市として栄えている東広島にて行う予定です。

校友会本部及び各支部の発展と、今後一層の御指導の程お願い致します。